

医療
 連携

2020年6月

39号

東京山手メディカルセンター 〒169-0073 新宿区百人町3-22-1 総合医療相談室 ☎ 03-3364-0366 FAX 03-3365-5951 http://yamate.jcho.go.jp/

- ▶ 新年度の御挨拶/矢野 哲
- ▶ 副院長・大腸肛門病センター長就任のご挨拶/大腸肛門病センター長 山名 哲郎
- ▶ 新生消化器内科が始動しました!/消化器内科部長 齋藤 聡
- ▶ 医療連携登録施設のご紹介/新大久保文化通り診療所院長 畑田 康政
- ▶ 着任の御挨拶/健康管理センター長 井上 博睦
- ▶ 看護師特定行為研修/皮膚・排泄ケア認定看護師 伊藤 貴典
- ▶ 東京山手メディカルセンター 外来担当表

TOPIX

新年度の御挨拶

矢野 哲



病院長職を拝命してから、早2年が経ちました。 常日頃より医療連携にて当院をお引き立ていただき、 厚く御礼申し上げます。

2019 年度終盤から COVID-19の感染拡大 によって、世界の経済と 医療は大きな混乱と変化 に直面しています。米国 が主導し中国が世界各国 の工場として機能して

さて、当院は 2014 年 4 月に独立行政法人地域 医療機能推進機構(JCHO)の一員となって早くも 7 年目を迎えました。昨年 9 月には東京都より「地 域医療支援病院」の認可を受けましたので、「かか りつけ医」の先生方との医療連携をますます強化し ていく所存です。今年度、国内最大級の炎症性腸疾 患センターでは、センター長として深田雅之先生 をお迎えしました。深田新センター長は炎症性腸 疾患の本場である米国に 10 年間以上、大学病院の assistant professor として臨床・研究に従事して きており、吉村直樹炎症性腸疾患内科部長と共に炎 症性腸疾患センターを盛り上げていくことが期待さ れます。同じく国内最大級の大腸肛門病センターで

は、3月に御退任された佐原力三郎先生の後任に山 名哲郎副院長・大腸肛門外科部長が就き、大腸肛門 病学会理事である岡本欣也部長と共に同センターを 盛り上げていくことが期待されます。さらに、新健 康管理センター長として井上博睦元国立国際医療研 究センター病院人間ドックセンター長が着任し、当 院の健診事業の刷新が期待されます。 すでに 2019 年度には総合診療科、救急科、メンタルヘルス科、 形成外科、緩和ケア科を立ち上げ、外科は食道胃外 科(久保田啓介部長)、肝胆膵外科(伊地知正賢部長)、 乳腺外科(橋本政典副院長)に細分化しています。 総合診療科部長には笠井昭吾先生が就き、救急科部 長は武田泰明脳神経外科部長が併任しています。救 命救急医療においては、総合診療医と領域別の専門 医が協働する地域完結型医療に取り組んでいます。 メンタルヘルス科の野本宏部長は、昨今急増してい る精神疾患・認知症を合併した患者の皆様に対応し ています。形成外科では、東大形成外科の御支援の もとに乳癌手術時の乳房同時再建が可能になってい ます。また、心臓カテーテル検査・治療が得意な循 環器内科、間質性肺炎・リウマチ肺など特殊な呼吸 器疾患に対応できる呼吸器内科、整形外科領域全般 をカバーできる整形外科と脊椎脊髄外科、腹腔鏡手 術・3D/4D 胎児超音波画像診断(小林浩一副院長) が得意な産婦人科等々、一騎当千の優秀な専門医が そろっています。その他の診療科の部長も優れてお り、柴崎正幸統括診療部長が全診療科の実務を統括 しています。詳細な内容につきましては、最近刷新 しました当院ホームページの診療科案内のサイトを 御参照頂ければ幸いです。昭和 22 年 11 月に「社 会保険山手病院」として内科、外科、産婦人科、歯 科の4科で始まった当院も、これで日本専門医機構 が定める全診療科目がそろいました。当院は地域住 民の皆様の健康増進と疾病克服に対する多様な御要 望にお応えすべく、地域の先生方と協力して医療・ 介護・福祉等のサービスが滞りなく提供できるよう に努力していく所存であります。地域医療・在宅医 療に携わる先生方と共に地域包括ケアシステムを円 滑に構築して参りたいと考えております。

今後とも引き続き何卒よろしくお願い申し上げます。



生のあとを引き継いで副院長・大腸肛門病センター長に就任いたしました。新型コロナウィルスという未知の感染症に対し病院全体としてこれまでに経験のない対応をせまられる中で、病院管理者の一人として緊張とともに大きな責任を感じておりますが、このたびはこの「連携つつじ」の場をお借りして皆様に新任の挨拶を申し上げさせていただきます。

私がこの病院の前身である社会保険中央総合病 院に入職したのは平成4年(1992年)の5月で した。それまでは聖路加国際病院で6年間の外科 レジデントとして一般外科の研修に努めておりま したが、レジデント3年目の時に始めた週1回の 肛門手術見学がきっかけで大腸肛門疾患外科に興 味を持ち、聖路加での6年間の研修を終えた後に 旧社保中肛門科の研修医として採用していただき ました。以来、28年間にわたってこの病院ひとす じに勤務してまいりましたが、その時その時のや るべき事におわれてあっという間だったという気 がいたします。最初の数年間は肛門や大腸の手術、 また注腸や大腸内視鏡といった診断検査の修練に おわれる日々でした。また直腸肛門機能検査を獨 協医大越谷病院で学ばせていただき、平成8年に 排便障害の専門外来を立ち上げてからは便秘や便 失禁の診療にもとりくんでまいりました。その後 は大腸外科の分野における腹腔鏡手術の飛躍的な 発展や炎症性腸疾患の手術件数の激増という大き な変化を経験しながら、医員(平成10年より)、 医長(平成15年より)、部長(平成20年より) を経て現在にいたっております。

ついて簡単にご紹介させていただきます。

●肛門疾患 (痔核、痔瘻、裂肛、その他) あらゆる肛門疾患を診ることが当センターの モットーであります。診断や治療の難しい症例 や、併存疾患のため入院での周術期管理を要す る患者さんの手術にも対応いたします。

●大腸癌

直腸癌や肛門癌、痔瘻癌、Colitic cancer などの特殊な大腸癌症例が多いのが当科の特徴ですが、一般的な結腸癌や直腸癌だけでなく特殊な直腸肛門部癌に対しても積極的に腹腔鏡手術を取り入れています。

●炎症性腸疾患 (クローン病、潰瘍性大腸炎)

当院の内科医師と連携して外科的治療を担っています。ポリサージェリーや内瘻・皮膚瘻を形成した難しい症例も受け入れています。炎症性腸疾患においても積極的に腹腔鏡手術を取り入れています。中毒性巨大結腸症や穿孔などの緊急手術にも対応いたします。

●骨盤底疾患(完全直腸脱、直腸瘤)

直腸脱に対してはご高齢のかたでも再発率が低くて低侵襲な腹腔鏡下直腸固定術を第一選択としています。また直腸瘤に対する後腟壁形成術、会陰裂傷や直腸腔瘻に対する会陰体形成術など他施設ではあまり行われていない手術にも取り組んでいます。

●排便障害

便秘や便失禁の患者さんに対して多職種チームで 直腸肛門機能検査を行って病態を評価し、保存的 や外科的治療を適切に選択して患者さんの QOL 改善に努めています。また先進的医療である便失 禁に対する仙骨神経刺激療法も行っています。

JCHO東京山手メディカルセンターの副院長・大腸肛門病センター長として、社会保険中央総京 病院時代からの古きよき伝統に加え、JCHO東京山手メディカルセンターとしての新しい診療サビスにも積極的に取り組んでいきたいと考えし、対象を増やすなど患者からがあるがある。4月からは初診時の予約制も開始も開始をできるだけ減らすことや、ご紹介いただきま取りをできるだけ減らすことや、ご紹介にもこれまで以上にの経過報告や逆紹介にもこれまで以上にのおとまいく所存です。これからも先生がたのおとないく所存です。これからも先生がたのおとてるよう、今まで以上にスムースな連携をとるよう努めてまいります。

大腸肛門病センター(大腸肛門外科) 外来担当表

	月	火	水	木	金
初診予約	古川聡美	山名哲郎	西尾梨沙	岡本欣也	岡田大介
再診予約	岡本欣也	西尾梨沙	岡田大介	山名哲郎	古川聡美
予約外	藤本嵩司	茂木俊介 村瀬博美 (隔週交代)		山口恵実	田邊太郎



2018年9月より消化 器内科部長を務めさせ ていただいております齋 藤聡と申します。地域の 先生方には平素よりご 協力を賜り感謝申し上 げます。

当院消化器内科は炎 症性腸疾患、肝臓、消 化管・胆膵に細分化さ

れています。私が担当していますのは消化管・胆膵グループで、消化器内視鏡を中心としたグループですが、入院診療に関してはその垣根はありません。

さて私は 2000 年に 1 年間当院にて研修し、どうしてもその 1 年間が忘れられず 2005 年に 再度赴任して現在に至ります。その間の消化器内科は浜田勉部長、次いで畑田康政部長という消化 器内視鏡のスペシャリストが牽引して下さり、内視鏡の件数も年々増加していました。私も内視鏡的粘膜切除術 (EMR)、内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD)、内視鏡的逆行性胆管膵管造影 (ERCP) などの研鑽を積むことができました。

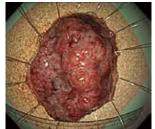
しかし 2018 年にはスタッフが私とレジデントのみ、2019 年度開始時には私一人となってしまい、診療、検査ともに縮小せざるを得ない状態となってしまいました。先生方にもご迷惑をおかけしてしまい申し訳ありませんでした。

今年度より矢野院長のご尽力により佐野弘仁医 長をはじめスタッフが増員となり、中堅、若手の 層が厚くなりました。外来診療につきましては5 月より、平日は毎日消化器内科外来を行うことが できるようになりました。入院後につきましても 迅速に対応できる機動力を持った診療が可能にな りましたので、ご期待に応えられると思います。

当科の診療内容について紹介いたします。

消化管早期癌に対する治療として主に ESD を行っています。ESD はナイフを用いて粘膜下層を剥離することで、腫瘍の大きさに関わらず一括切除が可能であることが大きなメリットです。し





6cm大の早期直腸癌に対する ESD



消化器内科 (消化管・胆膵グループ) のスタッフ

かし小さな病変や長時間の内視鏡に耐えられないハイリスクの患者さんもいらっしゃいますので、症例に応じて病変にスネアを掛けて切除する EMR も行っています。

当院は炎症性腸疾患の患者さんが多いことから、さまざまな小腸疾患の症例も豊富です。病変の拾い上げにはカプセル内視鏡(CE)、バリウムによる小腸造影検査を行い、生検や止血などの処置が必要な場合には経口または経肛門からのシングルバルーン内視鏡(SBE)を行っています。

悪性腫瘍術前の減圧または緩和目的の消化管ステント留置術は、食道、胃・十二指腸、大腸に対応可能です。

胆膵疾患については積極的に ERCP を行い、 細胞診などによる診断や、閉塞性黄疸に対する減 黄術として経鼻胆道ドレナージ (ENBD)、ステ ント留置(金属またはプラスチック)を行ってい ます。乳頭括約筋切開術 (EST)、乳頭バルーン 拡張術 (EPBD) などによる総胆管結石の治療も 積極的に行っています。

手術適応のない消化管、胆膵悪性腫瘍に対する 化学療法も行っています。入院での化学療法の導 入後には外来点滴治療室にて通院での治療も可能 です。

消化器疾患は一般診療で最もよく見られる疾患であり、QOLに大きな影響を与えるものも少なくありません。新生消化器内科は地域の患者さん、先生方のお役に立てるように精進いたしますのでよろしくお願い申し上げます。





総胆管結石の除去治療

医療連携登録施設のご紹介

医療法人社団 双葉会 新大久保文化通り診療所 Shin-Okubo Bunkadori Clinic

院長 畑田 康政

JCHO東京山手メディカルセンターの皆さんには日頃から本当にお世話になっております。病院 OB の立場を利用して、緊急の検査や診察の依頼などいつも無理を聞いていただいてありがとうございます。

東京山手メディカルセンターを退職してから早くも2年が経ちました。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)で世界が混乱している今、勤務医時代のことがいろいろと思い出されます。現時点(2020年5月下旬)ではまだ収束はしていませんが、日々状況は変化しており、5月24日の時点で残されていた首都圏と北海道の緊急事態宣言の解除が目前まで来ているところです。最前線で戦っている国立国際医療研究センターをはじめとして、院内感染のリスクも含め、診療にかなりの注意と労力を払っている各病院の職員の方々、病院の負担をできるだけ軽くして医療崩壊を防ごうと懸命に頑張っている医師会の先生がた、事務方の皆さんなど関係者全員の頑張りに敬意と感謝を表します。

2年前に病院を退職し、縁あって当院(新大久 保文化通り診療所)の院長となりましたが、実は 私で3代目の院長です。初代、2代目の院長とも に面識はなく、病院在職中診療所の存在を特に意 識はしていませんでした。詳しい状況を把握せず に院長を引き継ぎ、驚くことがたくさんありまし たが、とりあえずはやっと落ち着き経営状態も軌 道に乗り始めて来たかなといったところでの、こ の新型コロナウイルス感染症です。

診療所に勤務するようになって診る疾患がかなり変わりました。内視鏡も1日1~3件程度と 細々とやっていましたが、件数が少なく時間的余

裕もあるため意識して丁寧に検査するようになりました。いろいろなことを考えながら診療を行う心の余裕もできたような気もします。ある程度予想はしていましたが、感染症の多さにも戸惑いました。インフルエンザや感染性胃腸炎はもちろんのこと、溶連菌感染を含めた咽頭炎、扁桃炎の多さや急性肝炎、伝染性単核球症などのウイルス疾患にも遭遇しました。

今まで診てきた消化器疾患、特に便秘や下痢な どの便通異常の患者さんも多く受診されます。時 間的余裕もあるので、感染症や免疫学なども改め て勉強しているところで、今更ながら医学に進歩 に驚いています。花粉症や食物アレルギーらしき 患者さんも受診されるので、アレルギーについて も最近は興味を持って勉強しています。便通異常 についているいろな角度から考えられるようにな り、改めて消化管の奥の深さを感じています。し かし、高血圧や呼吸器、脂質異常、糖尿病など一 般内科で多く扱う疾患については、病院の先生が たに甘えて、今でもあまり勉強していないのが現 状です。根っからの消化器内科医であることを実 感し、この年齢になってみれば「天職」であった と自らに言い聞かせるしかないような気もしま す。

最初に「関係者への敬意と感謝」などと他人事のように書いていると感じられた方もいらっしゃると思います。当院でも少ないながらも発熱の患者に対応しており、受診者の中から陽性者も出てはいますが、患者全体の数が少ないこともあり、正直なところそれほどの緊迫感はないといったところです。逆に、全体の受診者数及び検診件数の激減、内視鏡検査の自粛などによる経営状態の悪

化を心配するなど、病院での医療崩壊の危機とのギャップを考えると、最近まで病院に勤務していた身としては違和感や、こんなにボーッとしていてよいのだろうかといった焦りなど複雑な心境です。医療の分野でも静かな分断が進んでいるのではないかとの恐れも感じます。今回の新型コロナのパンデミックは100年前の「スペイン風邪」のように人類にとって大きな変化をもたらす出来事のような気がします。

感染拡大の予防のため、オンライン診療の推進や PCR、抗原・抗体検査などの検査をどんどん増やせといった、鑑別診断はそっちのけでまずは「検査をしる」とか「薬を出せ」とかいうような風潮が今後も進んで行くのではないかと心配です。患者と医療関係者との関係についても、いるいるな問題で変化が現れてくるような気配を感じます。SF 映画の世界のように、体に不調を感じた場合には、まずオンラインで AI によるプライマリー・ケアでふるいに掛けられ、必要な場合には AI に指定されたクリニックか病院で、人間で

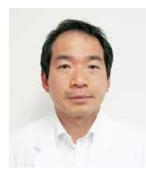
ある看護師や医師などの医療職による診察を受けるといった流れになっていくなど、医療が根本から変わっていくような気がするのは考え過ぎで しょうか。

私自身はすでに還暦を過ぎ、いつまで医療に携わっていけるかもわからず、こんな時代を目にすることはないと思いますので、しばらくは今まで通りの顔の見える病診連携をよろしくお願いいたします。

〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-5-8 科研ビル 1F

医療法人 双葉会 新大久保文化通り診療所 TEL 03-5937-0610 FAX 03-5937-0630





初めまして。4月に健康管理センター長として当院着任いたしました井上です。

前職でお世話になった 矢野院長先生のお誘いで、 今から 17 年ほど前にお 世話になったこの病院で

再び仕事ができますことを感謝申し上げます。

私がいままでどのような活動をしてきたかを一部ご紹介したいと思います。

さいたま市民医療センターという病院に勤務して いたとき。当時消化器内科との兼任で健診科長を担 当しておりました。多彩な症例が相談として寄せら れる病院です。抜群のチームワークの中、大好きな 内視鏡検査に没頭できた幸せな毎日でした。そんな 中、歯がゆい思いがしたのは膵臓がんです。なかな か長生きにつながる治療ができません。すい臓がん は 1cm 未満の大きさで検知しないと長期の予後は 保証されず、既存の検査、たとえば CT や PET-CT のような検査ではその大部分を検出することは困難 です。症状がでないときに、検査をして見つける。 ドックで行うべき役割ではないのか。そう思い、1 cm 未満で膵臓の腫瘤を検出することが期待される 技術、「超音波内視鏡 (EUS)」という検査にその可 能性を求めました。EUS は処置・治療を行うため の「コンベックス型」と言われるものが頻用されて いて、検査だけの「ラジアル型」は倉庫に眠ったま まであることが多かったのです。その「ラジアル型」 を引っ張り出し、検査対象を探しては検査をしまし た。悪戦苦闘しつつ 1cm未満の腫瘤も見いだせるよ うになりました。近いうち人間ドックに導入しよう か、と思っていたころ、大学研究室の大先輩である 大西真先生(前国立国際医療研究センター病院長) のお誘いがありました。「ドックセンターを作ろう と思っている。こっちで手伝ってくれないか」とい うのです。だいぶ悩みましたが、恩返しに少しでも なれば、と思い赴任を決意しました。

ドックセンターを開設して大きな部署にすることが私の仕事でした。病院というのは医者も看護師さんも、検査を担当される技師さんたちも多忙な日々

を送っています。一概に仲間を増やせばいいという ほど単純ではありません。しかもドックセンター開 設に伴い、たくさんの検査メニューも創設したので すから。そのままでは負担が増えてしまう。私が気 づいたのは、医療従事者の人たちの仕事に事務的な 仕事、雑用が非常に多いことです。これらの作業を 事務の人にお願いすること(タスクシフト)です。 事務チームの後方支援のおかげで身軽になった医療 従事者は専門性を発揮する高い機動性を獲得したの です。また、海外からの受診依頼も大変多く中国や ベトナムを中心に実に多くの国々から月 150-200 名近い外国人の受け入れも可能としました。これを 可能にする医療通訳、という分野があることを知り、 国内外たくさんの方々と実際会って、話をきいたり 勉強したりしました。少子高齢化社会が進む中、国 際化を目指す上で重要な領域を担う人たちです。熱 心で向上心が高い方々が多いことに驚きました。で すが一方でシステマティックに医学を勉強する環境 や、雇用に必ずしも恵まれているわけではないこと も知りました。であれば、と実際、自ら医学的知識 を教えることもしました。さらに「医療翻訳」とし ての英語翻訳チームを設立しました。これも通訳や 翻訳という仕事を医師から移譲するタスクシフト、 です。彼らのおかげで僕たちは安心して診療に当た れたのです。

振り返れば、すい臓のように挑戦をやむをえず 途中で置いているものもありますが、私はいずれ も一緒に仕事をしてくれた多くの仲間と上司に恵 まれていたと感謝しています。

新興感染症が社会を変えたとしても、思いを打ち明け、話すこと、説明を尽くすことの大切さに変わりはありません。健康管理センターとして、受診くださる方々に丁寧な説明を心がけることは忘れずにまいりたいと思います。皆様の不安に向き合うことが今、新たな挑戦の一つとして求められていると感じます。

どうかよろしくお願いいたします。

▶ご挨拶

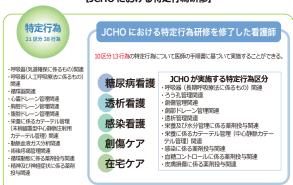
初めまして。特定行為研修を終了した看護師の 伊藤です。

2018年度から「看護師特定行為研修」を受講しておりました(2018年度は放送大学大学院で共通科目、2019年度は当院で区分別科目研修)。そして、2020年3月に私を含め2名が「血糖コントロールに係る薬剤投与関連」の特定行為研修修了の認定を受けることができました。近々、「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」の認定も受ける予定です。現在も「創傷管理関連」の実習中ではありますが、今後認定を受けた区分の行為を、当院で徐々に実施していくことになります。どうぞよろしくお願い致します。

▶看護師特定行為研修とは?

看護師の特定行為研修制度(「特定行為に係る看 護師の研修制度」) が始まったのは 2015 年 10 月。 限られた医療資源で増大する医療ニーズに対応す るため、「医師の判断や指示をその都度、待つ必要 なく、あらかじめ作成された『手順書』に基づい て、一定の診療の補助(=特定行為)を行える看 護師」を養成しようと制度が創設されました。特 定行為は、一般的に医行為とされる診療の補助の うち、高度な専門的な知識及び技能、並びに思考 力及び判断力を必要とする 38 行為 21 区分とさ れています。これらの特定行為を、研修を修了し た看護師が手順書により実践することができます。 現在 JCHO では 13 行為 10 区分の研修を実施し ており、当院では5行為3区分の研修を実施して います。特定行為研修を修了した看護師は 2025 年の団塊世代が75歳以上になるときには、熟練 した看護師の技術だけでは医師の補助に足りない として設けられ、生まれた看護師です。今後の医 療を支える者として、そしてニーズが高まる在宅

【JCHO における特定行為研修】



出典: JCHO 地域医療機能推進機構 HP https://www.jcho.go.jp/tokutei-kango/ 医療で活躍できる看護師として期待されています。

▶特定行為研修修了者は何ができるの?

医師の指示の下、手順書により、身体所見、血液検査結果および使用中の薬剤等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認した上で以下の特定行為が実施できます。

【インスリン投与量の調整】

インスリンの投与量の調整を行う。

【持続点滴中の高カロリー輸液の投与量調整】

持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整を行う。

【脱水症状に対する輸液による補正】

輸液による補正を行う。

【褥瘡又は慢性創傷の治癒における血流のない壊 死組織の除去】

鎮痛が担保された状況において、血流のない遊離した壊死組織を滅菌剪刀、滅菌鑷子等で取り除き、 創洗浄、注射針を用いた穿刺による排膿等を行う。 出血があった場合は圧迫止血や双極性凝固器により止血処置を行う。

【創傷に対する陰圧閉鎖療法】

創面全体を被覆材で密封し、ドレナージ管を接続 し吸引装置の陰圧の設定、モード(連続、間欠吸 引)選択を行う。

▶最後に

まずは院内からの活動になりますが、外来・手 術などで医師がすぐに対応できない状況でも、特 定行為研修修了者が手順書を基に患者の状態に合 わせてタイムリーに対応することで、患者の苦痛 やストレスの軽減、重症化予防につながります。 これから実践を重ねて、皆様のご指導・ご協力の 下、日々研鑽を積んでいきたいと思います。今後 とも何卒よろしくお願い致します。





東京山手メディカルセンター 外来担当表

※医師の指定がある場合は、お電話にて休診をご確認ください。 ※診療の受付時間は8:30~11:00です。 ※内科初診担当は交替制です。 ※大腸・肛門外科、産婦人科の「*」は女医です。 2020年6月

◆受付時間を過ぎる場合や緊急の場合は総合医療相談室にお問い合わせください。 総合医療相談室(業務時間 午前 8:30~午後 5:00) 直通 TEL:03-3364-0366 直通 FAX:03-3365-5951

科別				月	火	水	木	金
				鯨岡 裕史(循)	中島 淳(循)	薄井 宙男(循)	薄井 宙男(循)	瀬戸口 実玲(循)
				吉川 俊治(循)	村上 輔(循)	渡部 真吾(循)	吉川 俊治(循)	鈴木 篤(循)
				佐野 弘二(消)	三浦 英明(肝)	柳 富子(血)	三浦 英明(肝)	髙添 正和(炎腸疾)
		# 441		長門 直(呼)	米野 由希子(血)	茂田/大河内(呼)隔週	吉村 直樹(炎腸疾)	大河内 康実(呼)
		内科1		吉村 直樹(炎腸疾)	河口 貴昭(炎腸疾)	深田 雅之(炎腸疾)	髙添 正和(炎腸疾)	吉村 直樹(炎腸疾)
内科 2100 午前	午前		(初診)交替制	交替制	交替制	交替制	交替制	交替制
				徳田 均(呼)予約制	笠井 昭吾(呼)	小林晶子(リ・膠)=予約制	石森 太郎(呼)	徳田 均(呼)予約制
				岡野 荘(炎腸疾)	廣瀬 雄紀(消)	齋藤 聡(消)	宮田 直輝(消)	酒匂 美奈子(炎腸疾)
				瀬水 祐樹(糖)	堀江 有実子(糖)	堀江 有実子(糖)	中西 直子(糖)	後藤 麻貴(糖)
		内科2		山下 滋雄(糖)	山下 滋雄(糖)	後藤佐智代(糖)	山下 滋雄(糖)	山下 滋雄(糖)
				野本 宏(メンタル)	稲岡 万喜子(メンタル)	吉本 宏(腎)	山内 美紀子(メンタル)	古寺 理恵(腎)
総合診療科·救急科		午前	(9~13時)	笠井 昭吾	川島 秀明	笠井 昭吾	笠井 昭吾	川島 秀明
		13~17時)	大道寺 洋顕	岩田 裕子	野口(第1.2.3) 笠井(第4.5)	岩田 裕子	笠井 昭吾	
		午前		*古川 聡美	山名 哲郎	*西尾 梨沙	岡本 欣也	岡田 大介
大腸·肛門外科 2160				岡本 欣也	*西尾 梨沙	岡田 大介	山名 哲郎	*古川 聡美
				藤本 崇司	交代制	中田 拓也	*山口 恵美	田邊太郎
				日下 浩二	X I VIPI	伊地知 正賢	森戸 正顕	柴崎 正幸
			化器外科 i化管·肝胆膵)	久保田 啓介	柴崎 正幸	アゼルエ貝	本戸 正順 冨岡 容子(形成外科のみ)	藤田 純美(形成外科のみ
	/ - \		和·形成外科		末啊 近羊	本田 休美 (形は別れるで)		際田 純夫(形成外科のみ
外科 2120	午前	呼吸器外科		藤田 純美(形成外科のみ)		藤田 純美(形成外科のみ)	橋本政典(乳腺外科)	1.0 H t
7174 2120				水谷 栄基		森田 理一郎	森田 理一郎	水谷 栄基
		小朋	城血管外科	리마시	惠木 康壮	高澤 賢次		41 PA 41 ±
		午後 完全予約制		乳腺外科 橋本 政典		あし外来(第2·4週) 惠木 康壮	ソケイヘルニア外来 伊地知 正賢	乳腺外来 柴崎 正幸
		午前 予約 婦人科 予約外		*北麻里子	*野村 香央里	赤枝俊	77亿州 正良	橋本耕一
	4			11-40 W/王 J	交替制	小林 浩一	 *手塚 真紀	*石澤 千尋
産婦人科 2130				.00 +< 3		力咻 冶一		
				*児島 真千子	交替制		*児島 真千子	赤枝 俊
	午前産科(予約)		(予約)	交替制			*飯塚 奈緒	交替制
		午後産科(予約)			交替制		交替制	
					田代 俊之	飯島 卓夫	飯島 卓夫	飯島 卓夫
		表	&形外科	交替制		松尾 康史(第1・3・5週)	田中 哲平(第1.3.4.5)	田代 俊之
	午前		2707111		高橋 尚大	田中 哲平(第2·4週)		松崎 祐加里
整形外科 2180	1 100				松尾 康史	松崎 祐加里		
		容林	 養 管 簡 外 科	梅香路 英正	休診	交替制 初診9:30迄	侭田 敏且	- 交替制 初診9:30迄
		HTE	EH 8621의4	偶数週 侭田 敏且	PNES	大百的 初設5:30足	梅香路 英正	人目的 仍85.502
		午後 完全予約制					梅香路 英正(骨粗鬆症)	田代 俊之(膝) 飯島 卓夫(腫瘍
脳神経外科 2140	脳神経外科 2140 午前		神経外科	紹介救急(交替制)	武田 泰明 ※診察開始は10:30~	高草木 宏之	武田 泰明	大野 博康
					大野 博康	紹介救急 大野	神保 洋之	紹介救急 武田
小児科 2110			1診	山西 愼吾	山西 愼吾	早川 潤	山西 愼吾	山西 愼吾
	午	前	2診	赤尾 見春	上田 美希	赤尾 見春	赤尾 見春	赤尾 見春
			3診	田嶋 華子	峯 牧子	上田 美希	松本 多絵	上砂 光裕
眼科 2150		午前		地場 達也	地場 達也	地場 達也	地場 達也	地場 達也
				日下部 茉莉	日下部 茉莉	日下部 茉莉	藤野 雄次郎	日下部 茉莉
泌尿器 2170	泌尿器 2170 午前		大村 章太	加藤 司顯	加藤 司顯	休診	加藤/大村	
耳鼻咽喉科 2225		午前		岡田 和也	交替制	岡田 和也	岡田 和也	交代制
				交替制	松田 信作	交代制	松田 信作	松田 信作
	午後(火)のみ(13:30~14:30)		:30~14:30)		松田 信作			
皮膚科 2220		午前		 鳥居 秀嗣	宮田 龍臣	L 鳥居 秀嗣	 鳥居 秀嗣	鳥居 秀嗣
				岩瀬 麻衣子	岩瀬 麻衣子	岩瀬 麻衣子	岩瀬 麻衣子	岩瀬 麻衣子
	午後(1:30~3:00)		~3.00)		息居 秀嗣	岩瀬 麻衣子	白水 杯以	TOWN WILTY]
		午飯(1:30~3.00)		↑ BS I# 07				中野 雅昭
歯科 2210				中野雅昭	中野雅昭	中野雅昭	中野雅昭	
				熊谷 順也	熊谷 順也	熊谷 順也	熊谷 順也	熊谷 順也





東京山手 メディカルセンター

〒169-0073 新宿区百人町3-22-

総合医療相談室 **☎** 03-3364-0366 FAX 03-3365-5951 http://yamate.icho.go.jp/

